

「志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会」設立趣意

飯南町は一級河川斐伊川水系神戸川の源流を成す深い森林と美しい清流に育まれた豊かな自然環境を有し、町域には、恵まれた自然環境を活かした「東三瓶フラワーバレー」・「ふるさとの森」や、温泉・スキー場などの観光施設が存在し、多くの方が足を運んでいます。また、「ブルーベリーじゃむ」、「とんばら味噌」などの農産物の生産・加工・販売施設や「道の駅」、「うぐいす茶屋」などの交流飲食施設等といった地場産業もあります。これらの観光施設や地場産業、「東三瓶フラワーバレー」で開催されるポピー祭・コスモス祭などの地域に根付いたイベントもあり、地域活性化が着実に展開されています。

そのため、志津見ダム水源地域では、志津見ダムをはじめとした様々な地域資源を活かし、地域に暮らす人々が自らの幸せな将来のために力をあわせて、流域全体と連携しながら地域の活性化を進めていくこととしています。

また、志津見ダム水源地域においては、平成14年3月に策定された「志津見ダム湖周辺活用計画」（志津見ダム湖周辺活用計画検討委員会）に基づき、整備された周辺施設、水源地域が有する歴史・文化・豊かな自然などの地域資源を有効に活用し、水源地域の活性化を図るために、飯南町、地元住民、関係行政機関、ダム管理者による「志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会」を平成23年12月に設立し、平成24年3月に「志津見ダム水源地域ビジョン」を策定しました。

この「志津見ダム水源地域ビジョン」を着実に推進するためには、地域住民等への情報提供や理解と協力の呼びかけ、関係組織相互の協働・連携・支援、実施状況や水源地域の満足度等を確認し必要に応じてビジョンの修正・追加等を行うフォローアップが不可欠です。そのため、「志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会」を設立し、「志津見ダム水源地域ビジョン」を円滑かつ効率的に推進していきます。

平成24年3月13日